

質を究めたモノ創りへの挑戦 (提案公募型技術開発事業) ヤマセ電気株式会社

事業概要

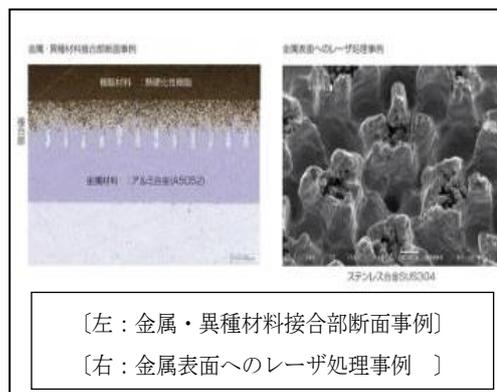
当社は、昭和47年7月に色麻町にて創立。「質を究めたモノ創りへの挑戦」を経営ビジョンに掲げ、ステレオラジオ用バリコンを皮切りに、フロッピーディスクドライブなどを製造。その後、ヤマセエレクトロニクス、東北エレクトロなどのグループ会社を設立。ヤマセグループとして、パソコン用インタフェース、キーボードの製造、車載基板の製造、LED照明機器の製造・販売などを手掛け、製品開発から部品調達、金型設計、試作、量産、納品に至るすべての領域でお客様に高品質なトータルサービスをスピーディーに提供しています。

平成25年度には、当機構の提案公募型技術開発事業を活用して、経済産業省戦略的基盤技術高度化支援事業(通称「サポイン事業」という。)に採択され、コスト低減、意匠性向上、環境負荷低減の3つを解決する「めっきプライマーインク及び3D形状対応印刷技術の融合による生産性の高い新たな部分めっき工法の開発」に取組み、山形大学や宮城県産業技術総合センター、トヨタ自動車東日本株式会社と連携し、本格的な事業化に向け邁進しています。

また、平成26年度、販路 NAVi 事業(現行「みやぎの中小企業マーケティング活動支援事業「コネクション型」」)の活用による広告掲載機能付きLED照明「アドライト」の販路拡大に努め、その製品が第7回みやぎ優れMONOに認定されました。平成27年度には、アメリカにおける知財の権利化推進のため、宮城県中小企業外国出願支援事業の活用により特許を出願。また、レーザを使用して金属表面に高速で微細なアンカー加工を施し異種材料をアンカー加工部に充填・固化することで強固に接合する技術が、第6回ものづくり日本大賞「製造・生産プロセス部門」で東北経済産業局長賞を受賞するなど、各方面で当社の独自技術が高く評価されており、今後の事業展開が期待されています。

企業の声

東北地域で生産されるコンパクト車と軽自動車との販売競争において、内外装の商品力向上が急務になっています。サポイン事業は、産学官連携により当社の強みである技術力を市場に提案できる最大のチャンスと捉えており、その事業化に果敢に挑戦しています。今後も、機構の各種支援や補助金等を活用して、お客様のニーズに応えるべく経営力の向上を目指して参ります。



企業概要

代表者：代表取締役社長 菱沼 厚
住所：加美郡色麻町四竈字はぬ木町154-1
電話：0229-65-4016
E-mail：headoffice@yamase-net.co.jp
URL：<http://www.yamase-net.co.jp/>
従業員：800名
業種：製造業
主要事業：筐体加工、組立、高密度実装等



提案公募型技術開発事業は、国等の提案公募型技術開発資金への提案発掘やマッチング等を行い、産学連携共同研究体の申請に係る支援から、社会に有用な新技術・新商品開発・実用化等に至るまで、総合的なコーディネート支援を行う事業です。